



初心者育成企画

Ayaha Yaguchi

# 矢口あやは 海ガール はじめました!

海は大好きだけれど、ヨットは未経験だった、  
トラベルライター&イラストレーターの矢口あやはさんによるヨット挑戦記。  
元気に世界を回ったあやはさん、しばらくの間は海中心で旅してもらいます!  
伊藤 猛さんのカタマランが完成間近。大洗にやってきました!(編集部)  
文・イラスト=矢口あやは 写真=山岸重彦(本誌) キャプション=中村剛司(本誌)  
text & illustrations by Ayaha Yaguchi, photos by Shigehiko Yamagishi (Kazi), captions by Tsuyoshi Nakamura (Kazi)

今回の対象: 伊藤 猛さん(カザキ)チーム



Vol.  
52

## 自作艇職人、伊藤 猛さんの カタマランTiKi30を見る!

前編

茨城県大洗の旧大洗小学校で作業するカザキチームの伊藤 猛さん(右端)皆さん。好きな寝装品?を手に、不思議な不思議なカタマラン造船のお話です!

◆ Yasushi Ito

ディラーを手にする  
伊藤 靖さん

◆ Hajime Eguchi

学校イスを手にする  
江口 肇さん

◆ Sakae Hiruta

ラダーを手にする  
蛭田 栄さん

◆ Takeshi Ito

ディラーを手にする  
伊藤 猛さん



◆ Ayaha Yaguchi

矢口あやは

6月14日、大阪生まれ。ライター、ときどきイラストレーター。旅行誌やカルチャー誌を中心に、グルメ、歴史、美容などのジャンルで活動。2014年に狩猟免許、2020年に1級小型船舶操縦士免許、2021年に3級海上特殊無線技士免許を取得。夢はヨットで世界一周。

あやはのギモン!  
自作ヨットって  
どうやって造るの!?



先日プラモデルを作ったら、かざった瞬間にバラバラになりました。巨大なヨットを自力で造るだなんて、ちょっと想像もつきません……!

カタマランを自作する  
ヨット製作の達人、登場!

このヨット界には、なんと自作艇を何艇も世に送り出し、なおかつレースに出て優勝したり、太平洋横断のロング航海を成し遂げてきた造船の達人がいらっしやるとか! 今回はそんなゴッドにお会いすべく茨城県・大洗に行ってきました。「よく来たね」と、男の隠れ家のような工房で迎えてくださったのは、例のゴッドにして笑顔がキュートな伊藤 猛さん(77歳)。水戸に生まれ、高校卒業後に貸し

今月のコーチ

伊藤 猛さん

木工所を営む家に生まれ、10代からセーリングに親しむ。ディンギーなどの自作を経て1984年に23ft艇(アドニスジュニア)を建造。2002年に建造した(弥勒II)(横山 晃設計12m)はキールポートとして5艇目の自作。今回のジェームス・ウォーラム設計 TiKi30は6艇目となる。

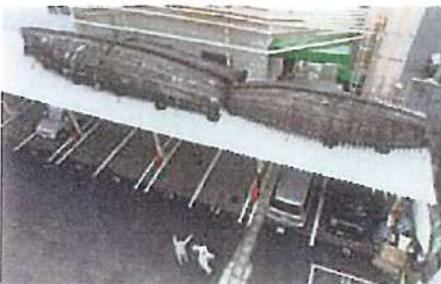


(弥勒II)(横山 晃設計12m)

●全長:12m ●全幅:3.35m ●喫水:2.2m フルスケグのアウトラダー、バルブキールを装備した外洋レース艇。2014年、太平洋横断を達成。小笠原レース2023にもエントリー。  
<https://yachtsailer-ito.jimdofree.com/>



(弥勒)(横山 晃設計12m)のオーナー、伊藤 猛さんとひじタッチであいさつ!



上: 工房の敷地内、駐車場の屋根はモールドの保管場所に。左が横山12m、右が横山9.8m  
右: 水戸市にある伊藤さん所有の造船工房。天上に吊っているのは倒立(さかさま)で作業中の横山9.8mのデッキ

ヨットに乗せてもらったのをきっかけに、どっぷりとヨットにハマったのだそう。

「性悪オンナ(ヨット)に取り憑かれて、私の人生の大半は豊かなものになりました」とは、ヨットデザイナー・横山 晃さんの言葉です。大先輩がそういうんだから間違いないよね!と笑う伊藤さん、家業だった木工所を継いで働きつつ30

代でヨット造りをスタート。

「ぼくらは木造ヨットの世代で、石原裕次郎さんの造られた40ftや慎太郎さんの36ftに憧れて育ちました。乗りたかったけど買えないから自分で造ろう、という発想で造りはじめたんです」と当時を振り返ります。

それから40年。数え切れないほどの

旧大貫小学校へやって来た!

廃校となった小学校を借りて、児童育成も見据えたカタマランを建造しています!



百葉箱を発見!



校庭にて。窓には「139年間ありがとう、さようなら」の言葉が



理科室/実験用のシンクが残っていました



玄関には「3つの大貫。大きなあいさつ、大きなうたごえ、大きなえがお」のスローガン!



下駄箱の思い出をかみしめる

給食室/大きな釜でサザエさんのタマ気分!



給食室



校舎裏に置かれたカタマラン、TiKi (ティキ) 30のハルモールド。片方は室内に保管



photo by Takeshi Ito



photo by Takeshi Ito

上：完成したハル(片舷)。多くの仲間が伊藤さんのもとに集まり、作業を行った  
左：ハルのFRP積層を終えたところ。カーボンFRPでサンドイッチしており、強度はバツグン



大きなのっぽの古時計を発見! 動いております

デインギーと5艇のクルーザーを海へと送り出した今でも「やめられない、とまらない♪」。とはいえ、最初は「なんでこんなバカなことやってるのかなって思っていました……」と言い、楽しいと思えるようになるまでには、ずいぶん時間がかかったとか。「それでも買うのとは一味ちがう面白さが、造船にはあったんです。自分が使いやすいように改良して、育てていけるからね。造った船を人に差しあげるときは、娘がお嫁に行っちゃうくらいさびしいものです……」

セーラーとしては特に外洋を好み、2014年には自作艇で太平洋横断を成し遂げるなど、手塩にかけた船とともに長い旅をしてきた生粋の冒険者。そんな伊藤さんが今、手掛けているのは30ftのカタマランです。

「ハワイのワイキキビーチに行くと、アクティビティーとしてカタマランがたくさんあるんです。子どもやお年寄りを乗せても安心の艇種だし、観光の目玉にもなるかもしれない。造ったカタマランは近海を走る観光船として大洗の町に寄付する予定なんですよ」

いよいよ完成を間近に控えたという自作カタマラン、早く見てみたい! でも、その前にちょっとだけ寄り道を。制作が始まった2016年からの足取りを追ってみましょう。

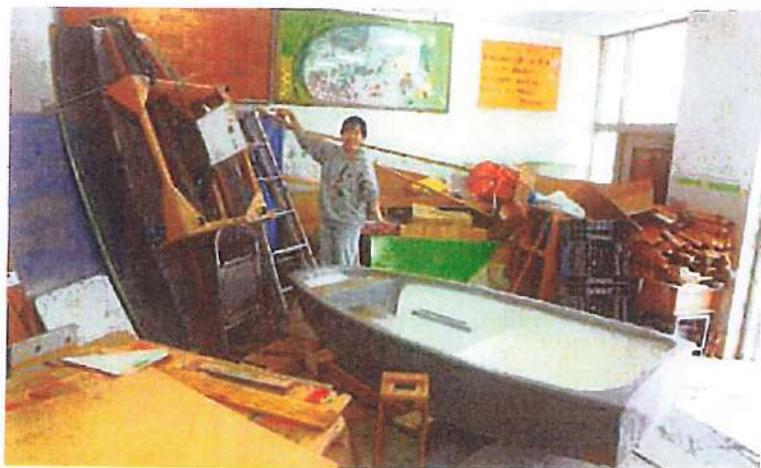
### 造船現場は廃小学校! 船づくりの最初の一步は?

まず案内された先は、なんと小学校。伊藤さんのご息の 靖さんと、〈弥勒〉

チームとして造船に携わった江口 肇さん & 蛭田 栄さんがにこやかに迎えてくれました。

「ここがカタマランの制作場所。廃校になったこの旧大貫小学校を再利用しました。というのも、船の素材であるFRPを自作する際は水気が御法度なので、どうしても屋根のある場所が必要だったんです」

主な作業場は、校舎を入ってすぐの位置にある昇降口。たくさんあった下足箱を取り払って広さを確保したのだとか。「造船は図面の入手から始まります。世界中でいろんなデザイナーさんがオリジナルの図面を販売しているんですよ。今回のカタマランに使用したのは僕が大好きなジェームス・ウォーラムのデザインで、価格は15万円でした。そこに記され



こちらはカーボンで積層したOP級! クラスルールを超えた遊び心で作成



カーボン製の軽さを体験♪



上：カーボン製はラクラク持ち上がります  
左：こちらはFRP艇……。重いです!



「モチモチの木」の切り絵の前に置かれたTiki30のライン図

2021年12月14日に永眠した設計者、ジェームス・ウォーラムの名前が、マルチハルの先駆者と呼ばれた



た10分の1縮尺の平面図、側面図、構造図、セールプランなどをベースに、必要なパーツを作っていくんです

### オス&メス型でパーツ製作 FRPも自作できる!

続いては、パーツ作り。今回のカタマランのオス型は、ステッチ&グルー工法(針金で縫ったり糊で貼りあわせたりする方法)でベニヤ板で作ったそう。

「ベニヤ板で造ったものをオス型として、周りにFRPを貼ってメス型(モールド)を作ります。メスができたら、内側に本番用のFRPを張りこんで固めます。そして、ガバッと取りだすんです。これが実際のパーツになります。この作業を繰り返して、必要なパーツを揃えていくんです



樹脂の脱泡含浸(気泡を抜いて繊維をなじませる)に使用するローラー



気泡抜きローラー、大小あります!



カーボンだとほんとに軽い

A級ディンギーも多数建造。こちらはなんとカーボン積層!



貴重なカーボン繊維の反物!

カーボン繊維にテンションが上がるあやはさん。繊維を記念にいただきました!



お守りにします

### TiKi30の造船日誌

2016年に建造を開始したTiKi30。その様子を紹介します!



2019年9月15日

小学校の跡地を使用する理由のひとつが、海洋教育。地元の小学生に造船体験してもらった



2022年2月2日

倒立(裏返し)にしたデッキ部。着実に建造が進んでいく



2021年11月27日

完成した片ハルに大漁旗を掲げ、みんなで押して移動! 警察の許可もきちんと取りました



大洗マリナーに到着!

大洗マリナーにて、このあと組み立てを行いました



自作ならではの  
楽しみって？

カスタマイズ  
できることね！

クラブハウスでTIKI30建造にいたるまでの自作艇の道のりを伺う。熱き造船魂に感服



大洗マリーナには、伊藤さんの造船日記のプリントが展示されているのだ



伊藤さん自作の船誌ラック。なんとバナシメジ100g×30の段ボールが3年分36冊びったり！



伊藤さんが集めたジェームス・ウォーラム設計のカタマランのイメージ図。いつかはアイランダー65(右下)を！

よ」(詳しくは文末コラムへ)

ちなみに、FRPとはFiber Reinforced Plastics(繊維強化プラスチック)の略で、強化繊維(ガラス繊維、カーボン繊維など)と樹脂(不飽和ポリエステル樹脂、ビニルエステル樹脂、エポキシ樹脂など)を組み合わせたものを指します。

「これらの材料をそろえれば、FRPも手作りできます。ただ、ポリエステルは経年劣化が心配だし、エポキシは高価すぎるし。その点、ちょうどいいのがビニルエステル。ぼくは普段、ガラス繊維とカーボン繊維、ビニルエステルを組み合わせ使っています。特にカーボンはめちゃくちゃ軽くて頑丈で最高の素材。使い出したらやめられないんですよ」

FRPを自作するときは、あ

らかじめ造ったモールドの中に、まずガラス繊維のマットを敷きます。そこに、ビニルエステル樹脂をしみこませます。その上にカーボン繊維を重ねます。さらにガラス繊維のマットを重ね、この工程を繰り返しながら強度を出していくのだそう。

しかも、ただ貼り重ねるだけではなく、樹脂の中の気泡をつぶす脱泡作業が待っています。「FRPはコンクリートにも似て、モールドの中で寝かせれば寝かせるほど強度を増します。熟成して美味しくなるウイスキーみたいだよ」と伊藤さん。

こうして着手から7年の時を経て、船体はほぼ完成。昇降口から船体をみんなでひっぱりだし、20人ほどの有志たちとともにマリーナまで道路を押していっ

ただそう。「警察でちゃんと許可をもらってね、大漁旗を振りながら。まるでお神輿みたいで、お祭り騒ぎだったよ！」

そんな記憶をたどりながら、大洗マリーナへ。船体は今、最後の仕上げをしている真っ最中なんだとか。次号いよいよカタマランと対面します。どんな船になったのかな!?



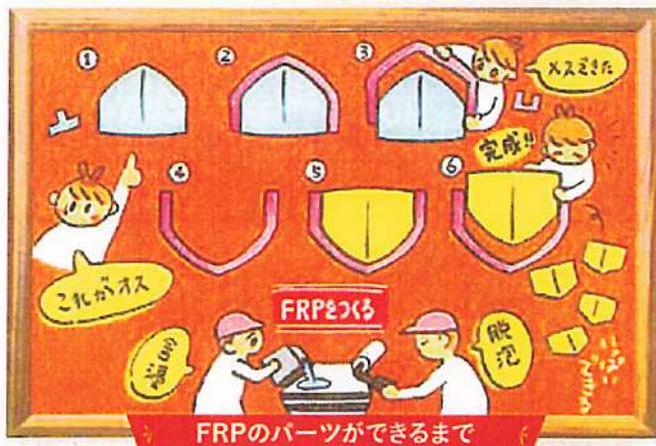
大洗マリーナで組まれたTIKI30。いよいよ次号は実艦を拝見します!



AYANA ART GALLERY  
今月の巨人たち

「巨人=今月のコーチ」の教えを  
あやは画伯が、  
自由なタッチで描きます♪

足取りを追うだけでも、気が遠くなるような作業の連続だったヨット制作。でも、造っている真っ最中の記録写真を見ると、チームのみなさんの顔は青春のきらめきにも匹敵するほどのまぶしさ。伊藤さん、船づくりってどんなところが楽しいんでしょう？  
「例えば水が漏れてしまったとしたら、なぜ漏れたのか、何が悪かったのかを考えて改良します。造れば造るほどバージョンアップしていけるんです。トヨタ会長であられた故・豊田章一郎氏も『9回失敗して10回目にいいものができる』と仰いました。トヨタでさえそうなんだから、失敗は当たり前。次はきっと最高のものができる。そこが楽しいんです!」



FRPのパーツができるまで

# 大洗 ぶらり旅

せっかく大洗にやってきたのだから、観光名所や名物を紹介します!

## 大洗磯前神社

TEL: 029-267-2637



海に面した鳥居が豪快な大洗磯前(いそさき)神社。海を望む鳥居からの海景を楽しもう



海沿いの道路に面した二の鳥居



御祈禱は虫切から大漁祈願まで多数



岩場に立つ神磯の鳥居。東を向いており、朝日の名所なのだ



## OARAI BEACH STYLE LAB. ノルディックウォーキング



ウォーキングボールを手に、ビーチを歩く!

(弥勒)クルー、江口 肇さんはノルディックウォーキング指導士(日本ノルディックウォーキング振興会!)

完走したぞ! というフリ。10分ほどの体験でしたが、この腕に利きます!

## アンコウ鍋を体験! 勝村荘

TEL: 029-267-3228



初日の夜は、(弥勒)のクルー、蛭田 栄さん、江口さんとアンコウ鍋パーティー! 1泊2食付き1人8,500円から



アンコウ鍋は追加で1人3,000円〜。写真は5人前



味噌ベースのダシにアンコウの肝が溶け込む……。悶絶のうまさ!



ビールが進むよ



あんこう吊るし切りの顔ハメ看板!

## ひたちなかエネルギーロジテック 大洗マリンタワー

TEL: 029-266-3366

高さ55m、大洗港を一望できる大洗タワー。入場料は1人340円



大洗マリーナの全景を堪能できます



テレビ望遠鏡が楽しい!



ゆるキャラ、アライッへのぬいぐるみ♪しらすの毛にハマグリの鼻!



## 「トラットリア」マリーナ

TEL: 029-212-3330

あんこうのトマトスープパスタ(1,903円)。アンキモたっぷりです!



大洗マリーナ2階のトラットリアでランチ! 「Kazi誌を見た」、と伝えると4月末までソフトドリンク1杯無料で!(1人1回まで。飲み残し禁止。マナーを守ってご利用ください)